

## ●モンゴル

2019年第2四半期のモンゴルのGDPは、名目値で9兆7776億トゥグルグ、2010年価格で5兆1240億トゥグルグだった。実質GDPは、すべての生産部門で以前の生産高よりも高く、前年同期比6.5%増加となった。サービス部門はこの成長の最大の貢献者で2.5%の寄与度となり、鉱業はそれに続いて2.0パーセントの寄与度となった。農林水産業・狩猟の寄与度は1.1%、製造業・建設業は0.2%であった。同時に製品に対する補助金を差し引いた税が0.7%を占めた(図)。

2019年第2四半期に、鉱業部門の成長率は、生産部門別で最大となる前年同

期比11.7%に達した。サービス部門は同7.0%でそれに続いた。一方、製造業・建設業の伸びは同1.8%で、部門別で最低となった。

サービス部門は2019年第2四半期GDPで最大となる36.6%のシェアを占め、36.4%の1年前よりもわずかに高くなった。2番目にシェアが大きかったのは農林水産業・狩猟で、21.1%であった。これは前年の21.4%からわずかに減少している。製造業・建設業のシェアも、2018年第2四半期の10.8%から2019年第2四半期には10.3%に低下した。

第1四半期と第2四半期の両方がプラス成長であったため、2019年上半期の実質GDPは前年比7.3%増加した。鉱業の

成長率は前年同期比13.0%で最も高く、製造業・建設業の成長率は同2.3%で最も低かった。

支出面では、2019年上半期に2010年価格の実質GDPは8.5兆トゥグルグに達し、前年同期比7.2%増加した。この増加は、主に総資本形成が24.9%増加したためである。同時期に最終消費は前年同期比5.9%増加した。家計消費と政府消費はそれぞれ同4.7%と同11.2%で増加した。純輸出は輸出よりも輸入の方が成長率が高いため、引き続きマイナスであり、2019年上半期には1.9兆トゥグルグとなった。

ERINA 調査研究部主任研究員  
エンクバヤル・シャクダル

(図) 四半期GDPの推移と部門別寄与度

